

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	東中原住宅集会所建替整備事業		
事業担当	都市整備部 建築住宅課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	利便性 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成26年度 ~ 平成27年度
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
公営住宅入居者の安全が確保されています。		公営住宅入居者の安全を確保するため、耐震強度が不足する東中原住宅集会所の建替整備を実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	東中原住宅集会所建替整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成27年度の整備完了を100%とした進捗率。設計15%、工事85%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			15	100	
	実績			15		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	: 予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
東中原住宅集会所の建替整備に向けて、基本設計と実施設計を行いました。						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	公営住宅入居者の安全を確保するため、耐震強度が不足する集会所の建替整備が求められています。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	入居者のコミュニティの場として集会所の整備は有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	公営住宅法や市営住宅条例により、入居者の共同の福祉のために必要な施設の整備として集会所が位置づけられています。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	整備後は指定管理者の管理により、コスト削減に努め効率性を向上させます。	高中低
今後に向けた課題の分析				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容				東中原住宅集会所建替 整備基本設計・実施設計	東中原住宅集会所建替 整備解体工事・建設工事
財源内訳	国庫支出金	0	0	2,420	23,490
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	34,500
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,958	605
事業費 (A)		0	0	5,378	58,595
執行率 (%)		-	-	76.83	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針
課長コメント